

【目指す学校像】みんなで どんなときも りかいしあえる学校

【目指す児童像】かしこい子 やさしい子 たくましい子

# みどりが丘小だよ

令和4年2月17日発行  
鹿沼市立みどりが丘小学校



学校  
ホームページ



## 合い言葉は「学びを止めない」

年末までは1桁程度の新型コロナウイルス感染者であった栃木県も、オミクロン株の登場とともに感染者が急増し、たった1ヶ月の間に1日あたり1000名を超えるまでになってしまいました。重症化しにくいと言われていても、12歳未満はワクチン接種をしていないこともあり、小学校や幼稚園・保育園、学童保育等においてはクラスターが発生しているところもあるようです。

そのような中で、感染防止対策を講じながら通常の教育活動に近づけるにはどうすればよいか、試行錯誤の日々が続いています。

まだまだこの状況が続くと思われ、臨機応変な対応を余儀なくされることも予想されます。

引き続き皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 学校評価結果から（後期）

2学期の教育活動について、児童・保護者アンケートや教職員自己評価をもとに振り返りを行い、改善策について検討しました。

#### 【共通して高評価の項目】

～95%以上の評価～

- ・学校は楽しい
- ・先生は子供を大事にする
- ・授業はわかりやすい
- ・話を最後まで聞く
- ・友達と仲良く生活する
- ・手洗い、歯磨きをする
- ・安全に気をつける

#### みどいっ子 アクションプログラム

考えよう 伝え合おう  
笑顔であいさつ 自分から  
元気に動いて、おいしく食べよう

#### 【課題と思われる項目】

～90%未満の評価～

- ・たくさん本を読んでいる
- ・進んで発表する
- ・自主学习に取り組む
- ・外で元気に遊ぶ

\*1学期と比較して、高評価の項目（95%以上）が増えました。特に「手洗い・歯磨き」は100%となっており、衛生面での成果が表れました。コロナ禍の中、感染防止対策としてマスク・手洗い・消毒が徹底されたことも大きな要因の一つと思われます。課題とし

ては、外出制限の影響もあり、室内で過ごす機会が増え、読書よりもゲームやインターネットに興味を示す傾向がより強く表れております。また、全体的に発表することに対して抵抗がある児童が多いのも本校の特徴といえるようです。

#### 【かしこい子部会】

- ・より一層本に親しむ機会を増やすため、朝の学習に読書の時間を位置づける。
- ・コロナ対策と並行して、授業の中で伝え合いの場を増やしていく。

#### 【やさしい子部会】

- ・児童の意識と大人の意識とのズレを解消するための方策を考える。（コミュニティスクールの活動としてあいさつ運動を実施できるか検討する）

#### 【たくましい子部会】

- ・教職員が率先して子供たちと一緒に外で遊ぶよう心がける。（3学期は縄跳びの練習に意欲的に取り組める工夫をする）
- ・早寝早起きチェックシートによる生活習慣の改善を図る。

\*これらの改善策については、次年度に向けた課題として、全校体制で取り組んでいきます。

## 生き生き教育活動

<4年ダンス教室>~1. 18~



小池様を講師にお迎えして、体育の授業の一環としてダンス教室を行いました。  
みんなリズムに乗って楽しそうでした。

<5年邦楽教室>~1. 26~

5名のボランティアの方々に来校いただき、琴や尺八など生の演奏を堪能しました。  
卒業式でもお世話になる予定です。



### ~授業参観の中止について~

新型コロナウイルス感染拡大につきましては、現在、本県にもまん延防止等重点措置が出されている状況です。これに伴い、様々な教育活動を制限することになり、保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。本校においては感染防止対策の徹底に努めているため、陽性者が発生しても感染拡大を防ぐことができていると、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。しかしながら、周辺の幼稚園・保育園等においても休園が相次ぎ、自宅待機を余儀なくされる児童が増加しております。

このような状況を考慮し、やむを得ず授業参観を中止といたしました。

今年度最後の授業参観なので懇談も含めて実施したいと考えておりましたが、このような対応となり残念に思います。保護者の皆様におかれましてはご理解くださいますようお願いいたします。

### <校長のつぶやき>

### ~担任と児童・保護者の信頼関係~

晴れた日の昼休み・・・

この日はクラス共遊でケイドロやこおり鬼、ドッチボールなど、担任と子供たちが楽しそうに過ごしていました。私が庭園の石に座りながらポーッとながめていると、「校長先生！今ケイドロやってるんだ。」と人なつっこい笑顔で話しかけてくる子供たち。担任っていいなあつくづく思います。



私にも担任時代がありました。20代の頃は週末、学校に来ると何人かの子供たちがいて、校庭でバーベキューをしたりカレーを作ったり（当時は校庭でたき火をすることもOKでした）、自分はガキ大将のように振る舞っていたような気がします。

ある日、教室の隅に募金箱が！共同募金のために係の子供が作成したものと感心していました。1週間ほどで募金箱が消えた数日後、朝の会で「先生！これ、みんなからのプレゼントです。」と、リボンのついた小さな箱を渡されました。中を開けると、靴下が3足・・・

私は足が蒸れやすいので、校内ではよくサンダルを履いていて、靴下に穴が開き、親指が顔を出していることはよくありました。それを子供たちが気にかけてくれて、プレゼントしてくれたというわけです。後で聞いたら、児童が家で先生の靴下によく穴が開いている話をしたら、お母さんがアドバイスをくれたらしく、子供たちが募金を募ったということでした。共同募金と思っていたのに、何とも恥ずかしいと同時に子供たちを愛おしく思いました。そして保護者にもありがたい気持ちでいっぱいになりました。

学年1クラスの小さな学校でクラス替えもなく、私は4~6年の3年間担任し、最高に楽しい時間を過ごすことができました。

そこには担任・児童・保護者の信頼関係が根底にあったことはいまでもありません。

